

No	キャラ名	台詞
4-001	彩蝶	あ、ああ……熱い視線を感じるといえば、 そういえば貴方がいたんでしたね。
4-002	彩蝶	すみません。盛り上がってしまい、 つい存在を忘れていました。
4-003	雛菊	姉さんが謝る必要なんてない、 私たちの家にいるそいつが悪い。 目障り……今すぐ追い出そう。
4-004	彩蝶	怪我人を相手になんてことを言うの。 殿方が苦手なのはわかるけど、 いつからそんな思いやりのない子になったのかしら？
4-005	雛菊	だって……
4-006	彩蝶	だってじゃありません。 そんな子はウチの子ではありませんね。
4-007	雛菊	そ、そんな……ごめんなさい、姉さん！
4-008	彩蝶	あらあら、謝る相手が違うのではないかしら？ 私に謝ってどうするの。違うでしょ？
4-009	彩蝶	私は素直に謝れる子が好き。 自分が悪いのに謝れもしない子なんて、 たとえ血を分けた妹でも嫌だわ。
4-010	彩蝶	その点雛菊は違うわよね。 間違いを素直に認められる素直で優しい自慢の妹よね？ ね？ そうでしょ？
4-011	雛菊	ひ、酷いことを言ってごめんなさい……
4-012	彩蝶	まさか、それで謝ったつもり？ 全然誠意が感じられないわね。
4-013	雛菊	そんな……

- 4-014 彩蝶 そんなではありません。
上辺だけの謝罪などなんの意味も成しはしない、
そんなまやかしの謝罪ならしない方がマシです。
- 4-015 雛菊 それじゃ、どうすれば……？
- 4-016 彩蝶 だから言ったでしょ、誠意を示せと。
- 4-017 雛菊 え〜と……あの……ええと……
- 4-018 彩蝶 なにをアタフタしているの？
もしかしてどうしたらいいかわからないの？
- 4-019 彩蝶 本当に仕方がない子ね。
立派になったのは胸ばかりなんだから。
これからはもっと礼儀を教えなきゃ。
- 4-020 雛菊 ごめんなさい……
- 4-021 彩蝶 だから私に謝っても仕方がないでしょう。
妹の不始末は姉の責任。
- 4-022 彩蝶 だから、誠意ある謝罪というものが
どういうものか教えてあげるわ。
ほら、見てご覧なさい彼の股間を。
- 4-023 雛菊 あっ……
- 4-024 彩蝶 服の上からでも分かるほどいきり立っているのが
分かるでしょう？
私たちのまぐわいを見て興奮してしまったのね。
- 4-025 彩蝶 さぞかし股間が窮屈なことでしょう。
いらぬ劣情を抱いてしまったことでしょう。
- 4-026 彩蝶 そうさせてしまったのが私たちならば、
鎮めて差し上げるのもまた私たちの責任。

4-027	彩蝶	うふふ、妹がとんだ失礼をしました。 それとお恥ずかしいところをお見せして 申し訳ありません。
4-028	彩蝶	せめてものお詫びにお相手させていただきます。 少々くすぐったいかもしれませんが、 ジッとしていて下さいね。
4-029	彩蝶	もっとも芋虫のようなその様では 動きたくても動けないでしょうけど。
4-030	彩蝶	おっと失礼。 私としたことがお客様に向かって芋虫だなんて、 重ね重ね申し訳ございません。
4-031	彩蝶	これは心を込めてお相手をしなければなりませんね。
4-032	SE	服を脱がせる音（布擦れ音）
4-033	彩蝶	おや……あらあらまあ、 これはこれはなかなか立派なイチモツではありませんか。 まさに天をつくほどそそり立って……
4-034	彩蝶	さぞかし窮屈だったことでしょう。 もっと早くに気づくべきでしたね。
4-035	彩蝶	しかし見れば見るほど立派なイチモツです。 長さも太さも馬並みで、 浮かび上がった血管のなんと猛々しいことでしょう。
4-036	彩蝶	おまけにこのむせ返る凝縮された獣のような雄の匂い。 匂いを嗅いでいるだけクラクラしてしまいます。
4-037	彩蝶	では、失礼します……チュッ…… ※以降、舌と唇による男性器への愛撫
4-038	彩蝶	うふふ、亀頭に口づけをただけで身をよじらせて、 そんなに気持ち良かったのですか？

- 4-039 彩蝶 ですが、まだ始まったばかり本番はここからですよ。
レロッ……はあん……んはぁ……ぺロ……ん……
はぁぁ……
- 4-040 彩蝶 どうです、竿をネットリと舐めあげられる感触は？
うふふ、そうですか、震えるほど気持ちいいのですね。
- 4-041 彩蝶 そんなにいいのでしたらタップリと舐めて差し上げますよ。
レロッ……レロッ……ぺロ……んううう……はぁぁ……
チュッ……はぁ……
- 4-042 彩蝶 この浮きあがった血管が堪りません……ハアハア……
レロッレロッ……チュッ……レロッ……んぁぁ……
- 4-043 彩蝶 本当……なんて逞しいイチモツなのでしょう……レロッ……
んううう……舌を這わせるたび脈打って……んうう……
ハアハアハア……
- 4-044 彩蝶 こんな若い容姿の私に興奮してくれるなんて嬉しい……
レロッ……んはぁぁ……ん……チュパ……んうう……
ハア……ハアハアハア……はぁん……
- 4-045 彩蝶 亀頭の先から先走りが……ハアハア……
見るからに美味しそう……うふふ、食べちゃいますね。
- 4-046 彩蝶 はぁむ……んんう……大きい……んぁぁぁ……はぁぁぁ……
んう……口が裂けてしまいそうなほど太い……はぁぁ……
- 4-047 雛菊 あんなに大きなイチモツが姉さんの小さな口の中に
飲み込まれていく……すごい……
※以降、フェラチオ
- 4-048 彩蝶 ハアハアハアハア……んうううう……ジュブジュブ……
ジュルルル……ん……ジュボジュボ……んうう……ん……
はぁぁぁ……んくっ……んはぁぁぁ……
- 4-049 雛菊 姉さんの口の中を大きなイチモツが出たり入ったり……
苦しそうに見えるのに……姉さんたら……ヨダレを垂らして
なんて淫らな表情を……ハアハアハア……

4-050 雛菊 姉さんが汚されていく……だけど……見ているだけで
感じちゃう……体が熱くなって……抑えきれない……
んうう……ハアア……ダメえ……んう……

4-051 雛菊 どんどん奥から熱い蜜が溢れ出して……止められない……
んうう……ダメ……このままじゃおかしくなってしまう……
アソコを慰めなきゃ……じゃないと私……

※以降、フェラする彩蝶をおかずに雛菊のオナニー

4-052 雛菊 んううう……んっ……凄い……こんなに濡れてる……
軽く触っただけなのに……指が蜜でヌルヌルに……
ハア……ハアハアハア……んうう……

4-053 雛菊 ああ……すごい……指が抵抗なく肉壺の中に……入って……
くうう……いい……いいの……熱い……身も心も熱く……
あああ……んうう……あああああっ……！

4-054

4-055 雛菊 んうう……ハアハアハア……んうう……んううう……
ヒダが指に絡まって……締め上げてくる……ハアハア……
くうん……ふあああ……あああああ……！

4-056

4-057 雛菊 ああ……また奥から蜜が……ハアハア……んううう……！！

4-058 彩蝶 んあああ……ゴホゴホっ……うえええ……ハアハア……
くう……ハアハア……イチモツのあまりの大きさに……
喉の奥まで犯されてしまうなんて……

4-059 彩蝶 それにしても謝罪の場だというのに私の口淫をおかずに
手淫するとは呆れたものね。
さすが盛りのついた雌犬だわ。

4-060 雛菊 ね、姉さん……んうう……ハアハア……あっ……くうん……！

4-061 彩蝶 ほら、今度は雛菊の番よ。謝罪の仕方はちゃんと見ていたわね。
1人で気持ち良くなっていないでちゃんと誠意を示しなさい。
わかったわね？

- 4-062 雛菊 わ……わかった……ハアハア……んんうう……
- 4-063 彩蝶 指を抜いた瞬間ドロッと肉壺から蜜を滴らせて……
本当に仕方のない子ね。
- 4-064 雛菊 ハアハア……姉さんの唾液塗れのイチモツ……
姉さんの甘い味がするイチモツ……ハアハア……
※以降、雛菊による男性器への愛撫（舌&唇）
- 4-065 彩蝶 私の唾液を舐めとるようにネットリと竿に舌を這わせて……
うふふ、なんてウツトリとした顔をしているのかしら。
- 4-066 彩蝶 男嫌いと言いながら蕩けるような顔をして、
やはり雛菊は淫乱ね。
- 4-067 彩蝶 さあ、舌先で尿道をほじるように刺激して差し上げて。
- 4-068 雛菊 うん……レロツ……んうう……レロツ……ぺろぺろ……
んはああ……んう……レロツ……
- 4-069 彩蝶 いいわ。もっと猫が毛づくろいするようにチロチロと。
- 4-070 雛菊 レロツ……んああ……はあああ……んああ……んう……
はあああ……レロツ……レロツ……ちゆる……
- 4-071 彩蝶 上手よ。
ほら、彼も恍惚な表情を浮かべて身悶えているわよ。
- 4-072 雛菊 はあむう……んうう……レロツ……はあああ……あむう……
レロツ……んくう……はああ……あむう……
- 4-073 彩蝶 それにしても本当に気持ちよさそうですね。
私の時とは大違いです。
ヨダレを垂らすほど感じてしまうなんて……
- 4-074 彩蝶 さあ、雛菊、今度はカリ首を重点的に舐めて差し上げなさい。

- 4-075 雛菊 ふあい……んうう……レロツ……んうう……はあああ……
はむう……チュパチュパ……レロツ……んんうう……ハア……
くうん……んはああ……レロツペロツ……
- 4-076 雛菊 レロツ……はあ……んうう……チュパ……レロツ……くうん……
はあああ……レロツ……レロツ……あむう……チュパ……
- 4-077 彩蝶 綺麗に舐めとったのに、先走り汁があんなに……
その淫らな唇でイチモツをくわえ込み
激しくしごいて差し上げなさい。
※以降、雛菊のフェラチオ
- 4-078 雛菊 いただきます……あむう……んんうう……んくっ……んうう……
はああ……んああ……ふううう……ん……
- 4-079 彩蝶 さすがね。
私の口には余るほどの巨根を容易く飲み込んでいくんですもの。
- 4-080 雛菊 はあむう……んうう……シュルルル……はあああ……あむう……
んあああ……んう……チュパ……
- 4-081 彩蝶 喉の奥までくわえ込んだらそのまま激しく頭を前後させ口全体で、
イチモツにご奉仕なさい。
- 4-082 雛菊 んぐうっ……うぐっ……ハアアア……ゲホッ……うぐう……ん……
ジュルルル……ジュボ……ジュボボボボ……んあああ……ふう……
くうん……ふああああ……ジュルルルル……！
- 4-083 彩蝶 2人とも快楽に飲み込まれ劣情を貪るただの畜生。
いいえ、畜生ですらこんなに乱れはしないでしょう。
うふふ、実にお似合いですよ。
- 4-084 雛菊 ジュルルル……んああ……はあああ……んっ……くうん……
ハア……ハア……んぐう……ゴホッ……んぐうう……
- 4-085 彩蝶 これ程の巨根の持ち主はそうはいない、
嬉しいでしょう雛菊？

- 4-086 彩蝶 いいえ、答えなくてもわかっているわ。
涙を浮かべ唾液を滴らせ、締まりのないだらしない顔を見れば、それが答え。
- 4-087 彩蝶 頭を前後に振り、唾液に塗れたイチモツが姿を現すたび、
大きな乳房が激しく波打ち、気持ちいいと叫んでいるようだわ。
- 4-088 雛菊 んあああ……んう……はあああ……ジュルルル……んくう……
ふあああ……んくううう……ジュルルル……ん……！
- 4-089 彩蝶 ゴクッ……それにしても本当に気持ちよさそうにして……
私までまたうずき始めて……んうう……
- 4-090 彩蝶 このままふたりのまぐわいを見届けようと思いましたが
私も参加させていただきます。
※以降、男の乳首にしゃぶりつく彩蝶
- 4-091 彩蝶 うふふ……こんなに乳首を立てて、まるで女の子ですね。
あまりの可愛さにむしゃぶりついてしまいたくなります。
それでは失礼して――
- 4-092 彩蝶 ペロッ……チュパ……はあむ……んううう……
- 4-093 雛菊 ジュルルル……んぐう……んああ……くうん……ハアハア……
ゴホッ……んぐうう……ジュルルル……
- 4-094 雛菊 ね、姉さん……
※以降、彩蝶の女性器に指を挿入し愛撫する雛菊
- 4-095 彩蝶 ちょ……なにを勝手に指を入れているの……早く抜きなさい……
- 4-096 雛菊 姉さんの中温かい……それにウネウネうねって
私の指に絡みついてくる……んうう……
- 4-097 彩蝶 ひやあああ……！！
- 4-098 雛菊 どんどん熱い蜜が溢れてくる……
私の指でこんなに感じてくれるなんて嬉しい……
もっともっと感じて……

4-099 彩蝶 ダメ……無理に広げないで……あああ……んくう……ひやつ……
んんう……はああ……はあ……んうう……あああああつ……！！

4-100 雛菊 姉さん……もっと可愛い声を聞かせて……

4-101 彩蝶 んんうう……あっあっあっ……はあんうう……んうう……
んはあ……あっあっあっ……！

4-102 雛菊 そんなに腰を振って……
安心して、もっとたくさんしてあげるから……

4-103 彩蝶 誰もそんなこと一言も……ひやあああああああつ……！！
んう……はあはあ……ふあああ……くう……はあ……
ひやああああ……はがあああ……！！

4-104 雛菊 堪らない……姉さんの小さくて狭い膣の感触……
どれだけ触っても飽きない……

4-105 彩蝶 あっあっあっ……くうん……ふあああ……ダメ……力が……
入らない……くう……はああああ……ん……！！

4-106

4-107 雛菊 なに、そんな物欲しそうな顔をして？
言っておくけど姉さんの体は使わせない。

4-108 雛菊 そのかわり私がこのまま口で最後までしてあげる。
それでいいでしょ？

4-109 雛菊 あむう……チュパチュパ……んくう……チュパ……ん……
ジュルルルルル……！

4-110 彩蝶 はああ……んう……んくう……むうんああ……ん……
ふあ……んくうん……ふあああ……

4-111 雛菊 レロッ……チュパ……チュパ……ジュルル……レロッ……
ふあ……んくう……レロッ……チュパ……

4-112

- 4-113 彩蝶 ふあああ……ふあああああ……んうう……あっあっ……
くう……私の弱いところばかり……くうう……
肉壺が……蕩けてしまいそう……
- 4-114 彩蝶 ふあああ……ふあああ……あっ……あっあっ……
くうん……はあああ……あん……あっあっあっ……！
- 4-115 雛菊 あむう……はあむ……レロツ……チュパ……チュパ……
んうあああ……はあむ……
- 4-116 彩蝶 このままでは……雛菊にイカされてしまう……ふああ……
姉として……私だけイカされるわけには……雛菊も……
くう……はあ、う……
※以降、雛菊の耳を舐め甘噛みする彩蝶
- 4-117 雛菊 うぐう……ハアハア……姉さん……また耳たぶを……
ふああああ……ひやああ……らめえ……
- 4-118 彩蝶 ダメじゃないわ……敏感な耳を攻められ
イッてしまいなさい……チュパ……チュパチュパ……
はあむ……んう……はああ……
- 4-119 雛菊 あっあっあっ……んうう……ひやああ……ダメ……
耳たぶを噛みながら……舌をねじ込まれたら……
あっあっあっあっ……！
- 4-120 彩蝶 口が止まってるわよ……ハアハア……んうう……
イチモツへのご奉仕はどうしたの……？
- 4-121 雛菊 ね、姉さん……レロツ……チュパ……ジュルルル……
んううう……ハアア……！！
- 4-122 彩蝶 レロツ……チュパ……ジュルルル……はあむ……ん……
ふあああああ……んくう……！
- 4-123 雛菊 んううう……！
ふああああ……あむう……チュパチュパ……ん……ハア……
ジュルルルル……くうん……ふあああああ……

- 4-124 彩蝶 ふああ……あつ……んううう……レロツ……チュパ……
チュパチュパ……ジュルルルルル……
- 4-125 雛菊 ジュルルルル……チュパチュパ……んう……あっあっ……
んくう……はあむう……チュパパパ……
- 4-126 彩蝶 んう……イクう……もう……すぐそこまで……
あっあっあっあっあっ……んうう……ひやああ……
はああ……くる……もう……もう……！
- 4-127 ※彩蝶の絶頂
- 4-128 彩蝶 あっあっあっあっあっあっ……くううう……！！
イクうううううううううううううううっ！！
- 4-129 彩蝶 ハアハアハア……んうう……先にイカされた……
だけど、このまま終わらせないから……
- 4-130 彩蝶 頭がボーっとするけど……絶対に雛菊も……チュパ……
レロツ……ジュルル……チュパチュパ……あむう……
はあああ……んあああ……ジュルル……チュパ……
- 4-131 雛菊 んううう……！
はあむ……んううう……あつ……んうう……チュパ……
チュパチュパ……ジュルルルル……
- 4-132 彩蝶 はあむ……んううう……あっあっ……チュパ……んあ……
ハアアア……レロツ……ペロツ……
- 4-133 雛菊 んっ……んうううう……！
- 4-134 彩蝶 うふふ、わかるわよ。
そろそろイキそうなんでしょう？
体を小刻みに痙攣させてわかりやすいのね。
- 4-135 彩蝶 それに、どうやら彼の方もそろそろ限界のようよう。
このまま射精させてあげない、
そして遠慮なく雛菊もイッていいのよ。

4-136 彩蝶 ほらほら……レロッ……ジュルルル……チュパチュパ……
はうむう……んああ……チュパチュパ……ジュルル……

4-137 雛菊 はあむ……はあむ……チュパ……チュパチュパ……ん……
ふああああ……レロッ……チュパ……レロッレロッ……
んああ……チュパチュパチュパ……

4-138 彩蝶 レロッ……チュパ……ジュルルル……んううう……

4-139 雛菊 あむう……はあむ……レロッ……チュパ……チュパ……
んうあああ……はあむ……んっ……

4-140 彩蝶 うふふ、我慢しなくて良いんですよ。
達したくなったら達してくださって。

4-141 彩蝶 そのまま貴方の子種を雛菊の口の中に注ぎ込んでください。
はあむ……チュパ……ジュルルル……チュパチュパ……
んくううう……ふああ……

4-142 雛菊 ふああああ……レロッ……チュパ……レロッレロッ……
はあむ……はあむ……チュパ……チュパチュパ……ん……
チュパチュパチュパ……くっ……！

4-143 雛菊 ん……ん……ん……チュパチュパチュパチュパチュパ……！

※フェラしたまま雛菊の絶頂

4-144 雛菊 ん！！！？？
んあああああああああああああつ！！

4-145

4-146 彩蝶 うふふ、口に射精されてイッたようね。
それにしてもいくら気持ちいからって潮まで嘔いて、
どこまでも仕方がない子ね。

4-147 雛菊 ケホケホケホ……うえええ……んうう……ハアハアハア……
んぐえ……ケホケホ……

4-148 彩蝶 あらあらせっかく出して貰ったのに
こぼしちゃうなんてもったいない。

4-149 彩蝶 それにしてもなんて濃厚な子種なんでしょう。
重体なときほど人は生きたいと渴望する。
生命力がもっとも活性化する時。

4-150 彩蝶 やはり私の見立てに間違いはなかった。
貴方をお招きして本当に良かった。

4-151 彩蝶 さあ、雛菊。
いつまでも余韻に浸っていないで
準備に取りかかりかかるわよ。

4-152 雛菊 ハアハアハア……わかった……姉さん……